市民表彰

長年の貢献に感謝し 4氏に市民表彰

平成18年度の枕崎市民表彰受賞者として、教育文化部門において今給黎正人氏、社会福祉部門において岩下敏子氏、産業経済部門において俵積田清守氏、長野敏大氏が選ばれました。

市制施行記念日である9月1日、授賞式が地場産業振興センターで行われ、多数の出席者が4氏の長年の功労を労いました。

写真左から

教育文化部門	今給黎正人 氏（84歳）	鹿篭麓町
社会福祉部門	岩下敏子 氏（88歳）	栄中町
産業経済部門	俵積田清守 氏（78歳）	別府東町
産業経済部門	長野敏大 氏（81歳）	西本町

■今給黎正人 氏

本市の文化財保護審議会や郷土民芸保存会の中心的役割を担われるとともに本市の歴史風土研究の成果を文献としてまとめるなど文化財郷土民芸の保護保存に大きく貢献されました。

■岩下敏子 氏

本市の民生委員また保護司として、よく地域住民の実情を把握し生活支援などの活動に献身的に取り組み、市民が安心して暮らせる地域社会づくりに大きく貢献されました。

■俵積田清守 氏

南薩土地改良区役員として、今日の別府畑かん地区における大型機械化体系による農業の効率化に尽力されるなど本市畑かん地区の事業推進営農確立に大きく貢献されました。

■長野敏大 氏

枕崎建設業組合の中心的役割を担われるとともに、本市建設業の技術力向上に優れた手腕を発揮し、本市の社会経済発展及び社会資本基盤の整備に大きく貢献されました。

枕崎空港

枕崎空港で３年ぶりに遊覧飛行

８月の土日に限定運航

枕崎空港で、３年ぶりとなる軽飛行機の遊覧飛行が行われました。８月の土・日曜日のみの運航で、宮崎市の㈱ＡＶＣ航空により行われたものです。

最初の運航日である５日には、鹿児島市から訪れたラジコン飛行機仲間の山口広明さん（写真右）、山内丈士さん（写真左）が第一号の乗客として３人乗りのセスナに乗り込み、枕崎市街地上空を約10分間飛行しました。山内さんは「海岸線がすごくきれいだった。時間的に短いが旅客機では味わえない面白さがある」と話していました。今回の遊覧飛行運航の期間、40名の方が利用されています。

また、５、６日には福岡大学航空部のグライダーの訓練飛行が２日間行われました。

今後、市としては、空港の多方面からの活用を行い、活性化につなげていきたいと考えております。

南溟館

南溟館の復旧工事が完了します

昨年11月、建物の一部火災により閉館状態であった南溟館が、９月末に復旧工事が完了し、約１年ぶりに〝再生〟開館いたします。

焼失部分の新築、また多量の煤で覆われた展示室は天井、床等の木材を張替えるなど大規模な復旧工事となりました。工事関係者によると、天井裏なども想像を絶する多量の煤が付着していたとの事で、あらためて被害の大きさを感じました。

新しく〝再生〟開館した南溟館が、市民の皆様の憩いの場、また創作活動の発表の場として、これからも文化活動の拠点として運営できるよう努めてまいります。

南溟館『再生』開館記念式典を開催

10月7日（土）の「南溟館の日」に、『再生』開館を記念して、盛大に記念式典を開催し、県警音楽隊による「安心・安全・枕崎市宣言」記念演奏会、その後、枕崎市役所までパレードを行います。

また同日から記念企画展として県内外で活躍している枕崎市出身の美術作家による「枕崎の作家たち展」を開催します。

◆南溟館『再生』開館記念式典

日時・会場　10月7日(土)午前10時～・第1展示室

◆〝安全・安心・枕崎市〟宣言記念式典

日時　同日　午前10時50分～午後0時30分

会場　パフォーマンス広場

○記念講演「安全・安心・枕崎市」
　講師：枕崎警察署長

○県警音楽隊による演奏会

○宣言パレード（南溟館～中央ロータリー～市役所）

◆風のコンサート

日時・会場　同日午後6時～7時・南溟館第2展示室

演奏　ピアノフォルテ(小川真理子氏ほか)・薩摩琵琶(三好輝氏)・枕崎市民吹奏楽団有志

交流会　コンサート終了後、南溟館で開催します。

◆枕崎の作家たち展

会期　10月7日(土)～26日(木)　月曜日休館・入場無料

会場　南溟館

親子スケッチ教室～南溟館～参加者募集

毎年、市外の公園等を会場に開催している親子スケッチ教室。

期日　10月8日（日）　午前9時～正午

会場　南溟館周辺

参加対象　市内に在住する幼児、児童とその保護者

講師　関好明（南溟館館長）

参加料　無料

申込み締切　10月7日（土）午後5時まで

準備するもの　筆記用具、絵の具（※画板、画用紙は主催者で準備します）

寄付

枕崎の日本画家故佐藤トエ氏の作品を市に寄贈

今年6月19日に亡くなられた枕崎の日本画家・佐藤トエ氏（元県美術協会会員）の所蔵していた作品3点と、佐藤氏の遺作10点が枕崎市に寄贈されました。

寄贈された作品は、本市出身で現在、京都で活躍している日本画家・加藤勝海氏の作品「絞椿」（10号）、南溟館館長で同じく日本画家の関好明氏の作品「干鮎」（8号）、第5回「風の芸術展」で大賞を受賞した鹿児島市在住の洋画家・城ケ崎悟氏の作品「いろいろなえんとつ」（6号）の3点のほか、佐藤氏の遺作「砂浜」、「鰹」、「浜の朝」など日本画作品10点。

作品は南溟館に収蔵し、今後、市民の皆様に鑑賞していただくよう展示・公開してまいります。ありがとうございました。

佐藤トエ氏

大正12年生まれ。56歳で日本画を始められ、県美術展入賞や南日本美術展に10回連続入賞されるなど、輝かしい足跡を残されています。亡くなる1か月前まで県美術展に出品するため、筆をとられていたということです。